

私たちにできること 我らが坂町・坂小のために…

本単元で育成する資質・能力

主体性 問題解決力 チャレンジ精神 表現力 思いやり 自己理解

- 1 日時 令和3年 2月4日(木) 第5校時
- 2 学年 6年1組 男子17名 女子15名 計32名
- 3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、3年生からふるさと坂町について学習し、「ひと・もの・こと」に触れる中で坂町への愛着を感じてきている。今年度の総合的な学習の時間のテーマについて話し合う中で、「坂町をもっと魅力的なところにしたい。」「『坂っば小たろう』を生み出した先輩のように坂小学校のためになることをしたい。」という思いが多く見られた。また、一昨年度の西日本豪雨災害や現在のコロナ禍に対して、不安や制限がある中で、自分たちにできることを実践し、少しでも安心できる生活を送りたいという思いも強く感じられた。

これまで、興味・関心・疑問から課題を見付け、体験学習等を通して情報収集し、整理・分析したことを、家族や後輩に伝える取組を行ってきた。その中で、自己の考え方・ものの見方の変化に気付くことができた。これらの学習を通して、児童は探究的な学習のプロセスに沿って課題を設定し、主体的に学ぼうとする姿が見られる。特に、整理・分析においては「ウェビング」「ベン図」などの思考ツールを他教科の学習場面でも活用することができる。

児童質問紙において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」は100%、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は78.1%、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」は78.1%、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。」は75%の児童が肯定的な評価をしている。このことから、自ら人のために行動したいと思っているものの、地域や外国のこととなると躊躇してしまう児童もいることがうかがえる。

(2) 単元観

本単元では、「坂町や坂小学校のために自分たちができること」を探究課題とし、自分たちの住んでいる地域のよりよい未来をつくることについて、その考えを発信していくことをゴールにしている。

児童は、これまでの総合的な学習の時間の学習を通して感じた坂町のよさを広げ、地域の温かさや協力に対して自分たちにできることは何かを考えていこうとしている。その思いを常に中心に置き、活動を展開することで、地域の未来を見つめる目をもち、そこに新たな課題を見だし、積極的に関わろうとする態度を養うことができると考える。

西日本豪雨災害や新型コロナウイルス感染症については、不安を増長させないように配慮しながら、「これから先どのような災害が起きる危険があるのか」「安全・安心な暮らしをするにはどうすればいいのか」「災害や感染を防ぐにはどうしたらよいか」など、これからの町づくりについて考えるときに重要な視点であることも理解すべき事柄である。

また、コロナ禍の中、卒業を控えている児童に、現実を見つめながら未来を創り出すことができる自分たちの可能性にも気付かせたい。坂町や坂小学校をよりよくするためには、「ひと」の意識や力が必要なことも感じていることから、前向きに問題と向き合い、自分たちが「ひと」を大切にすることが、地域や社会を築く基盤になることに気付いていけるような展開をめざす。

坂町のよりよい未来について考え、自分たちにできることを実践し、発信していくことで、学習後も、郷土を愛し、地域の一員として主体的に学んだり、積極的に社会参画したりする姿を期待する。

(3) 指導観

指導にあたっては、これまでの総合的な学習の時間を振り返り、坂町や坂小学校のためになること、卒業を控えた最高学年である自分たちにできること、「坂町・坂小学校のよさ」を大切にす効果的な方法などを考えさせ、新たな課題設定に迫りたい。そのため、個々の捉えた「坂町・坂小学校のよさ」や問題点の中から、今自分たちが取り組むべき課題について決定するための話し合いの過程を大切にする。様々な観点からの根拠を示しながら、自他の意見を大切にして意見を交換し論じ合う機会を充実させていきたい。その際、根拠となる資料の提示方法や思考ツールなど他教科でも学んだスキルを活用させ、豊かに表現し合う力をさらに高めていきたい。

また、自分たちの思いだけではなく、坂町・坂小学校を支え、築いている人の思いや取組にも考えを巡らせることができるように、アンケート調査やインタビューなどを取り入れたい。

そして、活動ごとの振り返りを通して、自分と他者の考えを比較したり活動から得た知識などをつなぎ合わせたりしながら、自分自身の考えを見直すことができるようにし、見方・考え方を広げたり深めたりすることで、「坂町・坂小学校のよさ」や「ひと」を大切にす力を伸ばしたい。

4 単元目標

- 自分たちが住んでいる町の中で、地域のために役に立つことを考え、実践することを通して、地域の人々へのかかわりを深め、地域社会でよりよく生きることについて考えることができる。

5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○坂町のための様々な取組があり、多くの人々が思いや願いをもちながらそれらに携わっていることを理解している。 ○坂町について課題解決学習に取り組むため、適切な方法で情報収集を行っている。 ○学習を通して、これからの坂町を築いていくのは、自分たちであり、自分の成長が坂町の成長につながることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの坂町について、今まで整理した情報から、学習の仕方や進め方を振り返り、課題を設定し、見通しをもって追究している。 ○坂町や取組に関する情報を多様な方法で効率的に収集し、選択している。 ○既習の知識や調査・体験で得た情報を整理し、まとめようとしている。 ○根拠を示しながら、自分の考えを効果的に表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの坂町についての課題を解決するために、異なる意見や他者の考えを受け入れて考えようとしている。 ○坂町の人・こと・ものに積極的に関わり、これからの坂町について自分にできることを考え、取り組もうとしている。 ○郷土を愛し守っていこうとする意識をもち、地域社会の一員として社会参画をしていこうとしている。

6 他教科等との関連

国語科	社会科	道徳科	特別活動
「私たちにできること」 「みんなで楽しく過ごすために」 「大切な人と深くつながるために」 「今、あなたに考えてほしいこと」	「わたしたちの生活と政治」 「日本の歴史（天皇中心の国づくり）」 「世界の中の日本」	「心を形に」 「土石流の中で救われた命」 「せんばいの心を受けついで」 「桜守の話」	「感謝の伝え方を考えよう」 「中学校生活に向けて」

7 指導と評価の計画（60時間 本時 34/60時間）

探究の過程	時間	主な学習内容 ☆自他を意識させるための指導の工夫	評価規準及び評価方法
情報収集 整理・分析 課題設定	2時間	坂町の「ひと・もの・こと」について考えよう。 ・昨年度までの総合的な学習の時間の内容を振り返り、今年度のテーマについて考える。	・既習の学習内容から考えたことを整理し、まとめることができたか。 （ワークシート） ・話し合いに積極的に参加しているか。 （行動観察）
情報収集 整理・分析 課題設定	2時間	・坂町の「ひと・もの・こと」とのかかわりの中から調べたいテーマについて考える。 ☆一人一人の課題に対する考えをしっかりと聞くことにより、少数意見を大切にすることができるようにする。	・話し合いに積極的に参加しているか。 （行動観察） ・これからの坂町・坂小学校について関心をもち、現状について考え、課題を見付けることができたか。 （ノート）

<p>課題設定 情報収集 整理・分析 創造・表現 振り返り 課題設定</p>	<p>12 時間</p>	<p style="text-align: center;">「コロナ禍で私たちにできること」について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習で学んだことを生かして感染症予防の観点から「大仏づくり」に取り組む計画を立てる。 (方法・大きさ・材料など) ・学習計画を立て、「大仏づくり」を進める。 (制作方法・手順・役割分担など) ・中間報告を行い、方法を見直ししながら取組を進める。 ・「大仏づくり」の取組を発信する方法を考える。 ・「大仏づくり」の目的などを発信する。 ☆協力に必要なことや自分にできることを考えさせ、全員で共有することにより、協働的な活動を意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に向けて、計画を立てることができたか。 (行動観察) ・課題解決に向け、必要な情報を収集しているか。 (行動観察・ノートなど) ・既習の知識や調査などで得た情報を整理・分析することができているか。 (行動観察・ノートなど) ・根拠を示しながら、自分の考えを効果的に表現することができたか。 (行動観察) ・学習を振り返り、次への課題を見付けることができたか。 (行動観察・ノート)
<p>課題設定 情報収集 整理・分析 創造・表現 振り返り 課題設定</p>	<p>8 時間</p>	<p style="text-align: center;">「私たちにできること」について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決定し、グループごとに学習計画を立てる。 (学校・環境・健康など) ・テーマに対する取組を決め、準備を進める。 ・グループごとに取組を実践する。 (ポスター・放送・〇〇週間など) ・取組を振り返り、次への課題を考える。 ☆それぞれの取組に対する成果や課題を聞くことにより、自分や友だちの成長に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に向けて、計画を立てることができたか。 (行動観察・ノートなど) ・課題解決に向け、必要な情報を収集しているか。 (行動観察・ノートなど) ・既習の知識や調査などで得た情報を整理・分析することができているか。 (行動観察・ノートなど) ・根拠を示しながら、自分の考えを効果的に表現することができたか。 (行動観察・ノートなど) ・学習を振り返り、次への課題を見付けることができたか。 (行動観察・ノート)
<p>課題設定 情報収集 整理・分析 創造・表現 振り返り 課題設定</p>	<p>33 時間</p>	<p style="text-align: center;">「卒業に向けて私たちにできること」について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂町・坂小学校の未来について考え、次の課題を決定する。 ・テーマを決定し、学習計画を立てる。 (坂小のために、坂町のために) 【本時(坂町のために) 10/20 時間】 ・取組に必要な情報を集め、準備を進める。 ・取組の発信方法を考え、実践する。 ・取組を振り返る。 ☆一人一人の課題に対する考えをしっかりと聞くことにより、少数意見を大切にすることができるようにする。 ☆一人一人が活動を振り返り、共有することで、協働して活動していることを意識したり、自分や友だちの成長に気付いたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの坂町・坂小学校について関心を持ち、現状について考え課題を見付けることができたか。 (ワークシート) ・根拠を示しながら、積極的に話し合いに参加しているか。 (行動観察) ・学習課題に向けて、計画を立てることができたか。 (行動観察・ノートなど) ・課題解決に向け、必要な情報を収集しているか。 (行動観察・ノートなど) ・既習の知識や調査などで得た情報を整理・分析するこ

			とができているか。 (行動観察・ノートなど) ・根拠を示しながら、自分の考えを効果的に表現することができたか。 (行動観察・ノートなど) ・学習を振り返り、次への課題を見付けることができたか。(行動観察・ノート)
振り返り	3時間	・単元全体の振り返りを行う。 ・中学校生活や自分たちが大人になっての生活なども想像させ、これからも自分たちができることを考えさせる。	・未来を担う一員として、これからの自分自身や坂町を考えることができたか。 (行動観察, ノート) ・これまでの学習を振り返り、自分や友だちの成長を実感できたか。 (行動観察, ノート)

8 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちの現状と目的を意識して国際理解の観点で根拠を挙げながら、坂町のために実行すればよいことを考えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意事項(・) 配慮を要する児童への支援(◆)	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時の学習課題のきっかけをつくる。	・今までの学習を振り返り、本時の学習課題に向かう資料(理由・案)を提示する。	
	2 本時のめあてを確認する。 めあて 国際理解を深め、「坂町のために私たちにできること」を考え、精選しよう。		
展開	3 個人の考えをワークシート(表)に整理する。	・自分の意見を伝えるための根拠を示すように伝える。 ・根拠には、これまでの取組の成果や課題、目的や問題点などの視点が含まれることを示す。 ◆自分の意見をもちにくい児童には、自分が興味をもつ活動について考えるように伝える。 <u>自他を意識した協働的な学習</u> ・思考ツールを選択して、意見を整理できるようにする。 ・一人一人の考えをしっかりと聞くことで、全員の意見を大切にし、よりよい内容にできるようにする。 ・整理しやすくするために、役割分担をさせる。 ◆自分の意見を発言しにくい児童には友だちの意見に対する質問を考えるようにさせる。	・これまでの取組の成果や課題、坂町の現状について整理・分析し、取組の優先順位を考えることができたか。 (ワークシート) ・根拠を示しながら、話し合いに積極的に参加しているか。 (行動観察)
	4 グループで意見を出し合い、思考ツールを用いて整理する。		

	5 グループで出された考えを交流し、精選する。	自他を意識した協働的な学習 <ul style="list-style-type: none"> 自分たちのグループとの共通点や相違点を意識して聞かせ、思考が広がるようにする。 他グループへの意見や質問を出させて、考えを深められるようにする。 教師がキーワードを色分けするなどして視覚的に整理していく。 	
振 返 り	6 本時のまとめ・振り返りをする。	自他を意識した振り返り <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で自分の考えが深まったことや友だちの意見で参考になったこと、話し合いへの参加の仕方などを振り返るようにする。 	
	7 次時の学習内容を確認する。	・全体で出し合った意見をもとに、取組時期や方法を詳しく決めていくことを伝える。	

【振り返り例】

- 坂町のためになることを早く実践したい。
- これからの坂町についてみんなで話し合うことで、自分たちにできそうなことがはっきりしてきた。
- 友だちの考えを聞いて、坂町のために今「私たちにできること」を決めるには、何を一番の理由にするか考えることが必要だと思った。

9 準備物

ノート、ワークシート、思考ツール（数種類）、付箋、短冊、ホワイトボード、マーカー

10 板書計画

めあて 国際理解を深め、坂町のために私たちにできることを考えよう。

国際理解 （目的） グローバル化社会 オリンピック開催 町内の差別反対	1	3	5	7
	2	4	6	8

<取組案>

- 文化調べ（行事・言語・衣食住等）
- 現状把握（環境・国内情勢等）
- 文化体験
- 外国紹介
- 町内発信

坂町のために 私たちにできること

まとめ 坂町のために（目的・時間・感染症対策）を考えて【 】を実践する